



昭和47年度育友会活動始まる (総会々場)

が ん ば

島三小育友会報
行 部
発 報 刷
印 刷 所
つるかわ印刷所

四月二十一日、昭和四十七年度当初の定期総会が開催され次の役員が選任紹介された。

- 会長 山本篤五郎
- 副会長 森本定義
- 古瀬けい子
- 監査 酒井 満
- 吉川啓一
- 常任 古瀬 帝 (学級部長)
- 委員 宮崎 頭一 (教養部長)
- 〇 松本 博 (生活部長)
- 伊藤 八郎
- 大島 政助
- 〇 福島 均 (環境部長)
- 〇 仲田 恒美 (交通部長)
- 大町 好広
- 〇 太田 智明 (広報部長)
- 〇 本田 武彦
- 〇 片山 恵美子
- 上田 和代
- 高松 ふさえ
- 宮崎 シェ
- 吉田 信子



見る目
気づく心

学校長 村田 正 二

校庭に紙くずが五つ六つ散らかっている。近くに遊んでいた子どもに「本田君、その紙くずを拾ってちりかごに入れてください」というと、「はい」とすぐに拾ってくれる。そばにいた二・三人の子どもも、まわりを見まわして、私が気づかなかった紙くずまで拾ってくれた。

時々、廊下を足音高く走る子どもがいる。私の顔を見て、頭をかきながら静かに歩きます。また、誰がしめ忘れたのか手洗い場の水道が出しっぱなしになっている。何人もの子どもがそばを歩いていくが水を止めようとするものがない。

私は、今年の始業式のとぎ、「目の見える人になろう。」「気のつく人になろう。」という二つの目あてについて話をした。子どもの教育でたいせつなことは、やる気をおこさせることだと言われているので、規則しげりあげるより、子ども自身に考えさせようと思ったからである。

物事を割り切って考えるのが現代っ子の特性だということをよく聞く。お手伝いをして、お使いに行っても何か報酬を要求する。仕事をやるにしても、この仕事は自分がやらねばならぬ仕事だからするけれど、そちらの仕事は自分の仕事ではないから知らぬふりをしてしまふ。また、自分に都合のよいことは善いことであり、自分に都合のわるいことは悪いことであると考えがちである。そうして、物事を「〇か」「×」かにきめつけてしまおうとする。しかし、世の中のいろいろな問題を考えてみると、解答はただ一つだけではない、いくつもありうるのである。極端に言えば、その問題をどのように見、どのように考えるかで一人一人の答がちがってくるはずなのである。そこで、最初に書いた三つの例であるが、皆さんすでにお気づきのよう、まだ見る目も気づく

心もよく育ってはいないということになる。では、どうしたらよいのだろうか。一口に言えば「見過さない」ということである。紙くずが落ちていたら、教師自身が拾い、子どもにも拾わせる。廊下を走る子どもを見たら、必ず注意をする。水道の水がもれていたらその場で止めさせる。このように、その場その場で実行させなければ、子どもにはならない。

おとなが見て「これでいいのだからか」と考えたらず、すぐに正しく指導してやらなければ子どもは育っていかぬものだ。今までの私たちの社会では、おとな自身が「見て見ぬふり」をしてすませたことが、あまりにも多かったのではないだろうか。

新しい酒は新しい皮袋へ



PTAの新しい活動方向と
それに対応した会則の改正を
育友会長 山本 篤五郎

「新しい酒は新しい皮袋へ」というのがあります。これは新しい酒（ぶどう酒）は古い皮袋（容器）に入れると、すぐ破れて酒が流れ出てしまう。だから、新しい酒はそれにふさわしい新しい皮袋に入れるべきである。という事で、新しい時代や情勢が生じたら、それに応じた態勢、仕組みが必要であることを、独特の、たくみなたとえ話でのべたものです。そして、このことは私たちのPTAについても、それが言え

るのではないかと思います。即ち、PTAの新しい活動内容、方向に応じた会則へ、現在の会則を検討し改正する必要があるのではないかと、いうことです。少し前まで、PTAについては、「曲り角に来た」とか、「PTA無用論」とかいう議論が、さかんに行われてきました。これらの意見は、PTAの活動が主として学校の財政的後援に力を入れてきたことや、会の運営が専ら一部の幹部役員によって行われていた、ということに

対する批判から起ったもので、そのような傾向については、今でもたえず反省をしていかねばならないと思っています。しかし、最近では、PTAの活動はハッキリと「曲り角」をまわり、本来の目的の方向に向って進んでいる、と私は思います。

今年度の活動方針に決められているような活動（研修や学習活動、学級における活動また交通安全対策や指導、校外の生活指導、学校内外の教育環境の改善運動、教育費増額運動など、さらに、本紙のような広報活動までもが、会員の皆さんの参加と協力によって活発に行われています。これは何れも、PTAが目

的とする、子どもたちの健全な育成に対する正当な活動であり、「PTAの必要性」を示すものでもあると思います。そして、これらの活動は、何も最近新しくはじまったものばかりでもありませんが、これまでそれがPTA活動の主な内容である、ということがハッキリ認められていたにもかかわらず、そのことが会則の中にも明示されていないようです。そこで、この正しい方向、新しい内容を、それにふさわしい表現で会則の中に盛り込む

ことが必要ではないか、と考える次第です。現在の会則も、私たちの先輩が苦心して作られたりっぱな内容のもので、しかし、時代の移り変わりや、活動の変化に応じて改正を行うことは、私たち後輩の責任でもあると思います。

専門部の事業計画紹介

教養部

- 育友会研修旅行の実施
- 育友会文庫の巡回講演会の開催
- 各種研修会、講習会への参加

生活部

- 部員による自主的な街頭補導
- アンケートによる意見集約と実態把握
- 生活指導上の問題点について討議
- 少年団の常時活動の推進

学級部

- 学級部会を充実し、自主的活動を推進する。
- 学級代議員の講習会開催
- 両親学級の実施

具体的には、会の組織にはかり、会員皆さんの参加と合意のうえで、慎重に行いますが、この機会に皆さんがPTAの活動について、また会則について、一そうの関心と理解を深めて、どしどし意見を出して下さいますようお願いいたします。

が ん ば

(3)

○道路掃除、球技練習、水泳練習その他

○三ない運動

○小さな親切運動の実践

○家庭会議の励行

広報部

○育友会の広報紙「がんば」を各学期毎に、年三回発行する。

○特別号を二回程度発行する。

交通部

○五ヶのつく日の交通補導

○通学路の安全点検

○各町内への交通安全啓蒙

○毎月の交通だより」の発行

○補導者の講習会の開催

○運動会当日の交通補導

○自転車点検

環境部

○校外生活の環境造成

○校内の学習、生活環境の保全と改善

○会員の勤労奉仕

○体育館建設推進の準備委員会開催

毎日いそがなかに、テレビをみる時間はあっても、本を読むという時間は、なかなかとれないものがあります。本人のちょっとした心がけ次第では、読みたいくなる時もあると思います。どうかでしよ。こういう時に、

巡回文庫の日程

育友会巡回文庫をおおいに御利用下さって心の糧にしてください。ききたいと思っております。本年も六月から八月末まで第一期として、第二期を十一月中旬から一月中旬まで、二回に分けて巡回する予定にしています。責任者のお方は、大変御心配をおかけいたします。が、何卒よろしくお願いたします。第一期を次の日程で巡回いたします。御利用下さいませ。

町内	期間(巡回期間)	保管場所
新山西	6月10日～7月7日	松本鉄石
新山東	7月8日～8月3日	吉田政春
崩山	8月4日～8月31日	徳永茂
坂上	6月10日～7月20日	中山春男
坂下	7月21日～8月31日	岩崎幸一
八幡	6月10日～7月20日	片岡清久 本田盛
栄町	7月21日～8月31日	松本勝美
桃山	6月10日～7月20日	本秀鈴子
霊南	7月21日～8月31日	本昭一郎
姪子町	6月10日～7月7日	熊本泰幸
白土上	7月8日～8月3日	古瀬恵子
白土下	8月4日～8月31日	原一 郎
浦田上	6月10日～7月20日	宮崎 一
浦田下	7月21日～8月31日	井上 諭 吉
有舟	6月10日～7月7日	諸田良一
津町	7月8日～8月3日	牧 国 義
元舟津	8月4日～8月31日	松下 肇
広馬場上	6月10日～7月7日	小林 千代年
広馬場下	7月8日～8月3日	片山 義 孝
廣新地	8月4日～8月31日	高田 喜三郎
中組	6月10日～7月7日	古瀬 帝
姪子鼻	7月8日～8月3日	唐 見 多美子
南風泊	8月4日～8月31日	芥 孝 夫
川尻	6月10日～7月7日	高 見 昭太郎
下川尻北	7月8日～8月3日	奥 村 雄 紀
下川尻南	8月4日～8月31日	荒 木 孝

研修旅行に参加して

育友会副会長 古瀬 恵子
六月七日三小育友会員二〇名は、佐世保市内の大野小学校に研修旅行をいたしました。その目的は育友会の組織運営及び活動の実際について研修することであり、雨天にもかかわらず多数の会



員が参加され有意義な一日を過ごすことが出来ました。大野小学校は、三十二学級をもつ大世帯であり、一口で云うとマンモス学校と云えます。話しによればこの大野地区は、北松浦の南部の中心として盛衰を経てきたが、昭和十七年に佐世保市に合併された後は、伊万里、北松、旧佐世保の分岐点として、又現在は住宅地帯として、或は中小工場の町として発展して来た町で、毎年児童数は増加一途をたどっておるそうです。育友会の組織並びに事業計画は三小とほぼ同じ様です。唯婦人部があり毎月婦人学級を開設したり、ベルマークの整理をなしたりして活動されており、また地域部では母親のバレーボール部が盛んに行なわれている部落もあるとのことで、その活動ぶりに感心した次第です。また大野小学校育友会では、◎子供の家庭や地域社会におけるくらし方をどうするか、◎よい子を育てるには、どのようにしたらよいか、◎子供会の健全育成のためには、PTA活動はどのようにすればよいか、◎子供の性格を理解し、子供の道徳性を伸ばすには親子関係はどうあるべきか等について、毎年研究され、よい子に育て、守り伸ばす為に尽力されている姿を拝聴し、賞讃せずにはおられません。また大野小学校では、昨年先生、児童、父兄の努力で、ソニー賞を受けられたそうです。三小でも昭和三十五年にすでにソニー賞を受けており、先進校としての三小は、内容的にもPTAの活動の面においても決して他校に劣っていない点を感じ、帰路につきましました。

研修旅行

教養部長 宮崎頭一

昨年もそうであった様に、今年も昨日からの雨は降り続いていた。七時半の出発まで余り時間も無い。二台のバスが到着し、番号順に乗り込む。車中では、色々とバスのガイドさんの司会も良く、歌・方

言等が飛び出し、時の立つのも忘れがちである。途中、諫早のおこしセンターに立ち寄る。大村市を通り、左手に琴の海が見えはじめた。色々と伝説の有る海だそうで、今は真珠の養殖場として有名で、日本第2生産地だそうである。天気が良い時には、西海橋が良く見えるそうであるが、あいにくの雨にかすんで今日は見えな。間もなく佐世保市内につく。

山の手の方から市内を一望に見渡しながら、大野小学校へとバスは急ぐ。「大野小学校」研修旅行の目的校である。予定より五分遅れ、小学校に着いた。体育館に、席が準備してあった。校長先生・教頭先生・先生PTA会長の方々から、学校の規模やPTAの各部の機構等が説明された。私は私成りにメモを取る。中でも婦人部の活動に付いて、感想を書いて見た。今まで研修に行った学校には、婦人部と言ったような部は、無かったような気がする。大野小学校の婦人部活動目標は「母親の立場から、児童の福祉と自己研鑽及び学校給食に関する事項」等である。婦人学級については、毎月人員六十名ぐらいで、五月から翌二月まで行われる。時間は午後一時三〇分～三時三〇分までの約二時間で、出席率は六〇%ぐらいたそう。六月には子供の衛生について、この頃は梅雨の期間でもあり、子供の健康について専門の先生を呼び、色々と健康についての講習会を聞いているそうである。七月は子供の水の事故について。十二月には、正月料理や子供の遊びについての婦人学級が行なわれている。

第三小学校でも、交通や水の事故に対する指導は行なわれているが、料理の研究会は、生活部でとり上げてもらいたいものです。給食についても、家庭の食事とバランスがとれるように****

津町 池永英子

一月九日、悪夢の様な一日でした。四時三〇分頃、智奈美の事故の知らせを受け、気も転倒せぬばかりに、病院にかけつけたあの日、泣き叫んでいるとばかり思ってしまった。子供から「お母さん、お父さん、心配かけてごめんネ。私の指は、なくなってるけど、がまんするから、おばちゃんをおこらないでネ」と、ついて行った。奥さんをかばっての言葉、あんなにあまえていた子供がこんな事を言えるなんて！私は何も言えず、唯うなずくばかりでした。あれから四ヶ月、私がかなしがると「お母さん、私の手はソウさんみたさん、ソウさん、ソウさん」と

母親が給食に関心を持つようにならなければならないと思ひます。最後に、今度の研修旅行で、皆様に大変御迷惑をかけた事、深くお詫び申し上げます。

我が子に思いをこめて

その気持が、いじらしくてありません。毎晩マッサージュしてやると、気持よく寝入ってしまう。そのあどけない寝顔に、思いをこめてつぶやく。「この長い人生を、切り開いて行ける様な明るい、強い子に育ててほしい」と。今では、左手で少しは読める様な字も書け、身の廻りも、一人で出来る様になり、一番心配していた、ひがんだりする様子もなく、元氣一杯飛び廻っている我が子の姿に、ありがとうと、言いたい気持です。これも諸先生方や、御父兄、又学友の皆様の暖かい思いやりと、励ましの賜だと、心から感謝いたしております。

崩山町 宮本 麻子

ただいまの次に ママはと吾子は呼び
息はずませて カバンおろしぬ
雨あがり 登校せる子を見送りて
外に出ずれば 眉山美わし
春風に 鯉は高く 喜々として
子等の幸せ ことほぎ舞うなり

坂上町 桑田フミ子

人並みに一年生になれる日
をどんなに待ちわびた事であ
ろう。真新しいランドセル、
机にかこまれて：
親も子も一年生だ。

会員の皆さんから

私も子供と一緒に
なって歌をうたう。仕事を持
つ母親のせめてもの楽しみと
いえましよう。
青空の下で子供らしく元気
で、友達と仲良くしてくれ

ば、親として今はそっと見守
っていてあげたいこの頃なの
です。

島原オリエテリング

と は
レクレーションクラブ
自然を愛し、自然の山野に
親しみ、自然にふれ合うこと
によって、市民皆様の体力づ
くり大いに貢献しようとな念
願して私達同志は、去る四月
二十三日に県下にさきがけて
このクラブを発会しました。
通称「SOL」と呼びますが、
「山野ばっ渉運動」とも云う
新しいスポーツです。即ち、
地図と磁石を持って、出発点
から終着点までの間、いくつ
かのポイントを主催者が指定
してあって、自分で方角、距



離をはかって順序良く確実に
蔭されたポイントを経由して
帰着する方法です。徒歩競技
や走って来る場合等色々あり
まして、三人位で一組を作り
ます。その距離も四kコース
八kコース、十kコース等、
初級、中級、上級となってく
り、年令や体力に応じて選定
され、時間的に早くつくこと
をきそうので、先づ地図と磁
石の読み方から初めねばなり
ません。

子どもとテレビ

栄町 朝永トミエ

民間放送のテレビ番組が、
私達の家庭に送り届けられる
様に成ってから早や何年も
歳月が過ぎようとしておりま
す。この間テレビ文化は、私
達の生活には計り知れない程
の影響を与えると同時にその
強大な影響力の為にさまざま
な批判を受けて来ました。毎
日の天気予報、ニュース等は
云う迄もなく、長崎県の出来
事大きくいいますと日本全体
の政治、経済、日常生活には
欠く事の出来ない便利な情報
を伝えてくれます。又、ドラ
マやバラエティに富んだマン
ガ映画や怪獣映画等私達を楽
しませてくれるし、生活を豊
かにする上で大いに役立って
います。特にこれから成長し
ようとしている感受性の豊か
な子供達へのテレビの影響は
私達親に取って、最大の関心
事である様です。みずみずし
い子供達の感受性を育てるた
った一遍のマンガ映画がどれ
程役に立っているかを私達は
考えずに、ただマンガだから

という理由で子供達の番組を
他の番組に切り替える時さえ
ある様です。
テレビ文化はこれからもま
すます複雑に成り、今迄とは
全く別な影響が出てこない
も限りません。しかし私達、
親としてテレビ文化の実体を
正しくとらえ、子供達への愛
情さえ失わなければ、教育効
果を高める手段として、又、
生涯に必要な情報を提供する
道具として、私達親子の未来
を切り開いてくれる物と私は
考えております。

雲仙にて

八幡町 城台健資
菫園老いも若きも菫狩り

人生行路

夕暗の中を彼は歩いていた。
歩いても歩いても渾しなく道
は続いて夜は深まり一寸先も
見えない。
此の道は何処まで続いて居
るのだろう、彼は何を求めて
歩いているのか、誰も知らな
い彼の人生もこれに似ている
ようだ。彼の希望は叶えられ
るのだろうか、一日も早く目
的の彼岸に達することを祈る。

崩山町 上田三郎

私の職業は看板屋、近頃は
広告美術業という。政府がそ
ういわせている。なんだか位
があがったみたいだが、そん
なことはどうでもよい。とに
かく字を書いたり、絵をか
たり書き屋商売上、むつかし
い漢字をなんとか簡略化する
ことを人一倍望んでいるので
紙上を通して多くの賛同者
を得たいと思い、一つ二つそ
の思いつくまゝを出してみま
しう。

時 間

漢新地 田中 武

時間とは、字で書くと二字
あるが、なかなか守れないも
のです。

私も代議員に三回なってみ
ましたが、学校で代議員会が
午後七時三〇分から開かれま
すが、一度だって時間に開か
れた事はありません。

時間に来た人にどれだけ迷
惑かけているか、考えになら
れた事があられるでしょうが、
時間も守れずに子供達に立派

自転車(このやゝこしい三
文字を一つにして) 鞆
飛行機(よむだけでもウル
サイ文字です) 鞆

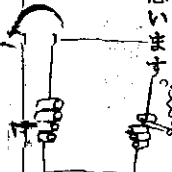
監獄又は刑務所を 囚所

ありそうで簡単になってない
のが職を転に働を妨に、一寸
思いつくだけでもいくらかで
て来ます。漢字を書くのがに
がての皆さん、声を大きくし
て国語審議会?あたりにせま
りましよう。最後にサーピス
を一つ飽?パンティーと読
みまよす。

エッチ!!

な事を言って、私達の事を振
替えて見ると、これで指導
員ができるでしょうか。

これから時間を守って、鳥
原時間はなくして、鳥三小の
時間厳守を守ってください。
書いた本人も同じ者なので、
自分の子供に時間厳守を誓い
ました。育友会の皆さんも、
昼間の仕事の疲れがあられる
と思います。時間は、基礎
です。一年間を良く指導員で
ありたいと思います



親しい挨拶

下川尻南 園田継絆

昭和三十四年十月、派米農
業青年の一員として、渡米し
た時の事で有ります。私達一
同は、羽田発の飛行機に乗り
一路サンフランシスコへと飛
んだので有りました。出発前
は誰しも思う事と存じます。

先進国、世界一富の国アメリ
カと言う事で、非常に優越感
を抱き、凡ての事に懐れ期待
を掛けました。そして、本土
に最初着いた所がサンフラン
シスコ国際空港でした。ホ
ムで待機して居る一時の事で
有ります。まず第一に目に付
き珍らしかった事は、接顔し
て挨拶を交わすのです。私達
日本人・田舎者は、余りに変
った事なので、見ない振りし
て見て居ました。本当に下劣
な事をする人種だなあと思
うのうちは思っ居ましたが、
二年・三年と現地での生活に
とけ込んで行くうちに、そん
な感覚はなくなり、かえって
好感がもて、愛着心が湧いて
来る様な気が致しました。一
見、顔見知りの方と出逢うと
握手する、したしい方には接
顔するし、心の底から、身体
の表面全体に喜び、したしみ
をさらけ出し合ひ、誠に単純
きわまる好景だと思ひます。
これに比べ日本では、帰国第
一步頭を下げる事から始まり、

最敬礼の連続、これもしんみ
りして良いので有りますが、
度を越すとおかしく成ります。
私は、日本の挨拶が悪いと言
うのでは有りません。もう少
し身を持って接し違ひ挨拶を
行う事によって、友好心を高
め、親睦の意を深める事が出
来、相互間の明るいイメージ
を生み出せるものと思われま
す。

私は妻の親に未だ一回も身
体に接した事は有りません。
盃を通じては無数にやってお
りますが、これをもう一歩踏
み込んで挨拶には握手を交わ
す、これによって人と人、心
と心が今迄以上に通じ合い、
大きな和が出来、平和な社会
明るい国作りが出来るものと
確心致します。

短 歌

靈南町 片山勝子

野をゆかば 若葉の香う
昼下がりに

そよ風に 浮かれて精出す
仕事かな

つまづくも なお克己せし
我が友よ

たち香る 若きみなぎる
グランドに



最近の子供の一日を見ていると
登校……下校……宿題……
意見の違ひ親子のロケンカ……
の繰り返しみたいである。
元氣一杯外気の中で飛びはね
る事もできない。

○道で遊ぶな

(遊べる広場は殆んどな
いから家にいる事が多
い)

○夏になれば勝手に海水浴
は駄目

(学校のプールはいかに
も狭すぎる)

○校庭でも遊んではいけない
余りにも育ち盛りの児童に
対して制約し過ぎではないだ
ろうか。

せめて学校の庭を開放した
らどうか。

海水浴ももっと気楽に味わ
せたらどうか。

いろいろ理由もある処だけ
ど、昔、気ままな学童生活を
送った年代の者として、何時
も気にかかっている事柄であ
る。

元舟津 松本 勝

六年　元村京子

カレンダーをめくる、27を見た。今日からまちにまった修学旅行だ。

近所の江島さんと、学校に行った。もう何人かの人がいた。みんなにこにこしてうれしそうだ。もちろん私も先生の話を聞いて、バスに乗った。

感想文 生徒旅行修学

たくさんの人達に見おくられたがらひ病院前をさつた。私のお母さんは、外港に来ていらっしやうた。車が船にはいっていきときなんだか、うれしいようなかなしい気持ちになった。船からおりて、天ぼう台を見学して天草五橋を通り動物園に行つた。急いで弁当を食べ遊ぎ場に行つた。と、いふのも、一日目の日程でいばん楽しみにしていたのは、遊ぎ場であそぶことだったからだ。遊びぼうだい遊んで、水前寺公園に行つた。

一面が緑。まあって自然そのものだ。そのうえ、池の水はきれいだし、ごみは一つもおちていない。私は(島原にもこんなところがあればいいのに。)と思った。

熊本城で、いちばんに感じたのは、広いということだった。その広い中に昔そのままの建物のや、いせきがあり、島原城とくらべものにならないうほどだった。売店で兄と姉のみやげを買って旅館にむか

もうむねはいっぱいで、どんな旅館かなあと思えばなした。旅館につくと、一ばんにへやにはいって。広くて明るいへやだ。そのうえ、便所と洗面所がついている。私は、こんなよいへやでよかつたなあと考えた。旅館の売店で全員のみやげをかっておちついたとき、晩ごはんは、だれでも三ばいから五ばいぐらい食べていたけど私は二ばいしか食べなかつた。と言うのも、ごはんが足りなかつたからだ。へやにかえるともうふとんがしいてあつた。き、ふろにはいるじゅんぱんがまわってきたので、ゆっくるとはいった。汗が流され、さっぱりしていると男子のへ

六年　町田博昭

ぼくが二年だった時の春に姉の修学旅行があつた。

そのころからずっと、修学旅行の日を、待ちのぞんできた。そして四年後ついに待ちに待っていた修学旅行がやってきたのだ。

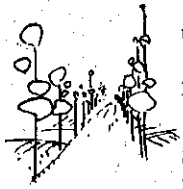
前日のいやな雨が、うそのように、空は晴れわたっていた。

それからバスにのってフェリーにのつた。島原半島が小さくなっていく船内に「ぼたる光」が広がった。そうしているうちに松島につき天草五橋が見える。

緑の木がしげっている島々を結んだあの五橋の姿が今もくっきりと印象に残っている。

熊本市内にはいって、水前寺公園にはいるとびっくりした。あまりにも美しい。ぼくは、すぐこう思った。ここに雪がふつたら、おそらく富士山をまねてつくつたという高い丘は、ほんとうに富士山そっくりになってしまふだろうと思つた。

その次は熊本城へ行った。ここでも一つびっくりしたところがある。



とがある。

それは熊本城の大きさであるが、がっちりした天守閣、さまざまなくふうをした石がきや城など、実際に熊本城へ行って熊本城への知識を深めたのはいうまでもない。

それから旅館についてねむれないまま午前0時まで、起きていた。

それから最後の見学地阿蘇についた。

阿蘇は、やはり思っているより大きかった。運よく晴れていたので火口までよく見るこ

とができた。

そしてなごりおしく思いながらフェリーにのつた。

長州港の港外は、おせじにもきれいだとはいえなかつた







が.....



島原半島を見て、修学旅行成功の満足感がひろがった。



新しい先生の紹介

					
山崎先生 (三の三) 一小より	森先生 (三の二) 深江小より	原田先生 (養護の先生) 北有馬小より	野沢先生 (六の二) 二小より	島田先生 (二の三) 四小より	園田教頭先生 市社会教育 課長より

ランドセルで始まる一年生



幼稚園から小学校へ、これまで育ててきた親にしてみれば、ホッと一息。しかし子どもにとって夢と希望をつめ込んだランドセルは、小さな肩にズシンと重く感ずるでしょう。これは子どもをとりまく環境変化の重みでもあり、又義務感の重みでもありましょう。これに耐えながら子どもは幼児から学童へと成長して行くのだと思います。一年生に入學して早くも二ヶ月を過ぎました。幼稚園児から小学生へと鮮かな「変身」を期待していたにもかゝらず、我家の長男坊は親の目には全く変りなく、保育園に二年、幼稚園に二年通ったせいのか、集団生活を体験しているため社会性だけは身につけているようです。

しかし子どもは子どもなりに環境の変化につれて小学校は勉強をするところで、幼稚園とは違う事を何らかの形で感じているのかも知れません。ランドセルや机を買った時

大野和美

早く小学生へなつて勉強したいと毎日に帰ってから名前を書いたりしていましたが、今頃では学校から帰って来るなりランドセルはほうり投げ、外へとびだして行きます。夜、机に向つて行きます。後からそっとのぞいてみると仮面ライダーや、怪獣の絵を一生懸命書いている有様です。四月六日、始めてランドセルを背負って登校する日の朝、いつもより早く起きて朝食をすませ、ランドセルの中をしらべたり、お道具箱はもったいなく、忘れものはないだろうか、お道具箱はもったいなく、忘れものはないだろうかと、大きなあくびをして「行って来ます」と雨の中をでて行った子どもの後姿をみた時、わずかに六年間の人生経験しか持っていないこの子のその六年の重みを重大さをつづく感じました。

保育園に通い始めて何ヶ月たった二才半頃、一人で市内バスにのって帰って来たこの子にとって親の心配や、おせつかいはむしろマイナスになるのではないかとさえ思いました。

小学生であるという意識、大勢の先輩、この大きな環境変化を比較的抵抗もなく受け入れた我が家の長男坊に安心すると共に、小さな肩に重いランドセルを背負ったこの子に対する信頼をよせてお祈りします。

曲りなりにも本年度初の「がんば」を発行することができました。原稿をお寄せ下さった方々に厚くお礼申し上げます。また会員の皆様にお願ひしたご投稿も三十五名の方からご協力があり、部員一同感謝しています。

今回だけでは紙面不足、誠に勝手でしたが順次掲載させて頂きたいと思っておりますのでご了承下さい。不都合な面も多々と思ひますが、今後とも皆様方のご協力、ご助言をお願い申し上げます。

編集後記



さあ青だ
いや もう一度
とび出すな
車は急に 止れない
ちょっと待て
右と左を もう一度